

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年1月22日 (2015.1.22)

【公開番号】特開2014-205707(P2014-205707A)

【公開日】平成26年10月30日 (2014.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-060

【出願番号】特願2014-139121(P2014-139121)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/605 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 38/26 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/605 Z N A

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/10 1 0 3

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 9/12

A 6 1 K 37/28

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月28日 (2014.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 R¹ X Z R²

{ 式中、

R¹が、水素、C₁ ~ C₄アルキル、アセチル、ホルミル、ベンゾイル又はトリフルオロアセチルであり；

R²が、OH又はNH₂であり；

Xが、以下の式 (I)：

His Ser Gln Gly Thr Phe Thr Ser Asp T
yr Ser Lys Tyr Leu Asp Arg Ala Arg Ala A
sp Asp Phe Val Ala Trp Leu Lys Glu Ala

を有するペプチドであるか；又は式 (I) と異なる場合には、28位の残基がSerであり、且つ：

2位の残基が：D Serであり；

20位の残基が：His、Gluから選択され；

24位の残基が：Glnであり；及び

29位の残基が：Thrである；

のうちの任意の1又は2箇所によって式(I)と異なっているペプチドであり；そして
Zが、存在しないか、又は4、5、6又は7個の連続したリジン残基であり、
但し、Xが、

His Ser Gln Gly Thr Phe Thr Ser Asp T
yr Ser Lys Tyr Leu Asp Arg Ala Arg Ala A
sp Asp Phe Val Ala Trp Leu Lys Ser Thr、
ではない。}を有する化合物、又は医薬的に許容し得るその塩。

【請求項2】

前記Xが、28位の残基がSerを含み、かつ以下の残基のセット：

20 Asp；

20 Asp、24 Ala；

20 Asp、29 Ala；

29 Ala；

24 Ala、29 Ala；

24 Ala

20 Glu、29 Thr；

24 Glu、29 Thr；

2 D Ser、29 Thr；又は

20 His、29 Thr；

のうちの1つを含む、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

前記Xが、以下の配列：

HSQGTFTSDYSKYLDRARADDFVAWLKSA（配列番号6）；

HSQGTFTSDYSKYLDRARADDFVAWLKEA（配列番号7）；

HSQGTFTSDYSKYLDRARAEDFVAWLKST（配列番号8）；

HSQGTFTSDYSKYLDRARADDFVEWLKST（配列番号9）；

H D Ser QGTFTFTSDYSKYLDRARADDFVAWLKST（配列
番号11）；又は

HSQGTFTSDYSKYLDRARAHDFFVAWLKST（配列番号12）、
を有する、請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

前記R¹がHである、請求項1～3のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項5】

前記R²がNH₂である、請求項1～4のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項6】

前記Zが存在しない、請求項1～5のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項7】

例えばペプチドX内の、アミノ酸側鎖のうちの1つ又は複数を、親油性置換基又は重合
体部分に結合させる、請求項1～6のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項8】

請求項1～6のいずれか1項に記載の化合物をコードする核酸。

【請求項9】

請求項8に記載の核酸を含んでなる発現ベクター。

【請求項10】

請求項8に記載の核酸又は請求項9に記載の発現ベクターを含んでいる宿主細胞。

【請求項11】

請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物、核酸、発現ベクター又は宿主細胞を、医
薬的に許容し得る担体との混合物の状態を含んでなる医薬組成物。

【請求項 1 2】

体重増加を予防するためか、体重減少を促進するためか、あるいは病的な肥満、肥満に関係する炎症、肥満に関係する胆嚢疾患及び肥満誘発性睡眠時無呼吸症を含めた過剰体重若しくは肥満により引き起こされた又はそれらに関連する身体状態の処置のためか、あるいはインスリン抵抗性、耐糖能異常、2型糖尿病、高血圧症、アテローム形成性脂質異常症、アテローム性動脈硬化症、動脈硬化症、冠動脈性心疾患又は脳卒中の処置のための医薬品の調製における、請求項 1～7のいずれか 1項に記載の化合物、核酸、発現ベクター又は宿主細胞の使用。

【請求項 1 3】

体重増加を予防するか、体重減少を促進するか、あるいは病的な肥満、肥満に関係する炎症、肥満に関係する胆嚢疾患及び肥満誘発性睡眠時無呼吸症を含めた過剰体重若しくは肥満により引き起こされたか又はそれらに関連する身体状態の処置のためか、あるいはインスリン抵抗性、耐糖能異常、2型糖尿病、高血圧症、アテローム形成性脂質異常症、アテローム性動脈硬化症、動脈硬化症、冠動脈性心疾患又は脳卒中の処置のための方法における、請求項 1～7のいずれか 1項に記載の化合物を含む、医薬組成物。